

参考資料：岡山縣上道郡古都村史、『岡山市の地名』著者岡山地名研究者
岡山史蹟めぐり（岡山市立西大寺公民館古都分館）

しじかい 穴甘村（現、穴甘）

戦国末期頃の宇喜多直家の家臣に穴甘太郎兵衛という武将がいた。戦功が多く、兎島群の八浜合戦では七本槍の一人であった。

村名は古代に朝廷がイノシシ、シカを飼育するために置いた穴甘部に由来するといわれる。

穴甘部で猪鹿を飼養の部民、すなわち猪飼部であるといわれている。

一定の職業を代々受け継ぎ、その職名または地名を氏の名とした。部民は、血族や部族を従えて皇族に奉仕した。

| | |
|---------------|-----------------------------------|
| 明治8年(1875)12月 | 矢津村と土田村の奥矢津と合併して穴甘村となった |
| 明治22年6月 | 南方村、藤井村など4ヶ所と合併して古都村となり穴甘は大字名になった |
| 昭和28年(1953)2月 | 町村合併で西大寺市内に入った |
| 昭和44年2月 | 西大寺市の岡山市編入合併に伴い西大寺穴甘 |
| 昭和47年7月 | 穴甘と改称 |

国道沿いに工場商店が増えている。JR山陽本線・赤穂線東岡山駅にも近いので住宅地も進んでいる。